



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和5年
(2023)
7月20日

第34号

第21巻第1号
年2回発行

主な記事

- 巻頭 国際社会に貢献する
若い世代の育成を進めよう
- 報告 第17回 タイ・スタディツアーを開催
- その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953
<https://www.reitaku.or.jp/>
発行人・濱島直隆／編集人・横山守男



国際社会に貢献する 若い世代の育成を進めよう

一般財団法人 麗澤海外開発協会
会長 廣池 幹 堂

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行し、3年以上続いた新型コロナウイルスへの危機対応が一つの転換点を迎えています。このようなコロナ禍や自然災害に際して忘れてはならないのは、医療関係者のご苦勞であり、常にわが国の安全保障と国防の最前線に身を置いている自衛隊をはじめ、国民の生命・財産・安全を守るために日夜尽力されている関係各位の皆様へ、心からの敬意と感謝を捧げたいと思います。

今、内外の情勢はいっそう混迷を深め、依然としてロシア軍による攻撃でウクライナの多くの国民が危険にさらされています。いかなる理由であっても、他国への軍事侵攻は許されるべきものではありません。国民の安心・平和な暮らしを守るために、国家はどうあるべきか。独立と自由をどのように守っていくのか。ウクライナ問題は、私たち日本人に本質的な問いを突き付けています。

麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）、外務省所管の財団法人として設立されました。以来、主に開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には内閣府より「一般財団法人」として認可され、今年で創立52年を迎えております。今日までご支援を賜りました多くの皆様へ、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の顧問でもあるラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。併せて、わが国の青少年の育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも定期的実施しています。これらのツアーに参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して、国際協力についての理解を深め、国際貢献の場で活躍するための知識と心を大きく育んでいます。本年12月22日から29日にかけて開催される「タイ・スタディツアー」は、モラロジー道徳教育財団の「廣池千九郎基金青年育成助成対象事業」の一環として、同財団との共催で実施します。本趣旨に賛同する若い世代が奮って参加されることを期待します。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今、あらためて設立の原点に立ち返り、これまでの実績も踏まえ、国際社会に貢献する人材の育成と、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

第17回 タイ・スタディツアーを開催

令和5年2月7日から15日までの9日間、麗澤海外開発協会（RODA）では、17回目となるタイ・スタディツアーを開催しました。参加した麗澤大学生11名は、当協会の長年の支援先であるメーコック財団や、ルンアルン（暁）プロジェクトなどに滞在し、それぞれの活動を学びながら、子供たちとの交流やボランティア体験を通して現地の人々のやさしさや異文化に触れ、さまざまな気づきと感動を得ることができました。

ルンアルン（暁）プロジェクトでの活動と交流

〈2/8～9〉

タイ北部チェンライ県で農業技術指導と教育支援を行っているルンアルン（暁）プロジェクト（代表・中野穂積氏）は、同プロジェクトが管理するコーヒー農園での有機農法によるコーヒーの栽培・販売を通して、地域での持続可能な生活向上をめざして活動しています。ここでは、中野代表による講話と質疑応答、コーヒー農園への訪問、コーヒーの摘み取り作業等を体験し、地元の村も訪問しました。また、チェンマイ大学のインターン生との交流（談話、お菓子作り）も行いました。



コーヒー農園にて



チェンマイ大学インターン生との交流

メーコック財団での活動と子供たちとの交流

〈2/9～14〉

チェンライ県で生活が困窮している少数民族の子供たちの生活・教育支援施設の運営を行っているメーコック財団では、責任者のアノラック・チャイスリン氏による講話を聞き、子供たちとの交流会、タイ料理作り体験と日本料理作りを行い、カレン族の村では象乗りや温泉、タイマッサージ等を体験しました。また、ボランティア活動（セメントを使ったメーコック川の堤防づくり）を行い、メーコック財団内の教会での日曜礼拝にも参加しました。



メーコック川の堤防づくりのボランティア



財団内の教会にて

チェンライ・ラチャパット大学を訪問

〈2/10〉

チェンライ・ラチャパット大学の人文学部日本語学科3年生12名とグループに分かれて交流し、麗澤大学紹介のプレゼンテーションやキャンパスツアーを実施しました。



グループに分かれて交流しました



キャンパス内の公園にて

山岳民族の生活向上をめざすアブ・アリ・プロジェクトを訪問

〈2/11〉

山岳民族としての誇りを守り、その生活向上をめざすアブ・アリ・プロジェクトを訪れ、プロジェクト内の寮を見学し、プロジェクトの高校生8名と文化交流(折り紙、あやとり、日本のお菓子の紹介)をしました。



アリア代表によるプロジェクトの説明



少数民族出身の高校生との文化交流

観光として、7日にチェンマイ・ナイトバザーに行き、9日にワットロンクン(白い寺)、10日にワットロンストアテン(青い寺)を見学、11日にメーサイ(ミャンマーとの国境の町)とゴールデントライアングルを訪れました。

モラロジー道徳教育財団と共催する「タイ・スタディツアー」

参加者募集中!

来る12月に開催する「タイ・スタディツアー」は、公益財団法人モラロジー道徳教育財団の「廣池千九郎基金青年育成助成対象事業」の一環として、同財団と共催します。これからのわが国を担っていく学生・青年の皆さん、奮ってご参加ください!!

日 程	令和5年12月22日(金)～29日(金) 6泊8日
定 員	18名(定員になり次第締め切ります)
参加資格	16歳から40歳までの青年(20歳未満の方は、保護者の承諾が必要)で、健康状態が良好な方
参加費	183,000円 (国際線・タイ国内線往復航空運賃、空港使用税、期間中の宿泊費・食費・移動費、コーディネート費)を含む/個人的費用、海外旅行保険代、集合前および解散後の移動費、チップ、寄付金等は含みません
申込期限	9月4日(月)

お申し込み・
お問い合わせ先

公益財団法人モラロジー道徳教育財団(担当: 浜島・山本)

電話: 04-7173-3182 FAX: 04-7173-3185 Eメール: kouken@moralogy.jp

たくさんのご支援、ありがとうございます

〈令和4年4月1日～令和5年6月30日〉掲載に同意された方をご紹介します。(順不同)

■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、株式会社ピアかざりや、新井秀啓、内田八代、長谷和治、竹原茂、土谷和光、渡辺康博、桑山清和、横山守男、杉浦廣道、小松務、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、大谷誠之、横山印刷株式会社、今井收、小西直之、長谷篤治、山田雅雄、佐藤薬品工業株式会社、松本哲洋、山本浩、藤村薫、望月一雄、古川定邑、俣野幸昭、長谷真千子、桑島義智、梅村元成、和田悦治、井上源一、太田徳昭、増田一江、水田恵一郎、小林雅純、永治達彦、古川益二、濱井利一、福井博康、桑島朋子、所一彌、平塚靖永、須見好和、有限会社弘明堂、松岡孝柁、三木実、河村満、風澤俊夫、杉山直、岸上肇、菅間正則、北川好長、岩田英志、横山明弘、黒白常光、菅澤運一、大山圭子、田中一宏、板垣廣光、田中聖則、沖野二郎、井川治男、村瀬泰比古、鈴木貞夫、小西正純、森口真美、淡島成高、鈴木孝明、森田武志、青木久子、結城保、赤松良平、田口英樹、関口輝比古、奥光明、加島亮伸、飯島孝夫、塚谷仁志、佐久間三郎、杉山幸史、武田貴、福代明正、濱島直隆、北澤泰子、神永正男、藤田恭子、井上景介、上萩洋三、田中孝夫、田中裕子、藤田和広、和田淳司、木野稔、山口保安工業有限会社、廣池加津子、村田ボーリング技研株式会社、株式会社三国一、落合博志、黒須里美、我孫子利和、出口孝信、長谷愛子、伏木重夫、斉藤清員、吉井清隆、吉山八郎、世田谷北沢モラロジー事務所、上総モラロジー事務所、加古川モラロジー事務所、小松島モラロジー事務所、千葉中央モラロジー事務所、岸和田モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、焼津モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、尾道モラロジー事務所、川越・富士見モラロジー事務所、草加モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所

■準会費

俣野貴昭、山岡幹人、長谷憲治、長谷美世子、尾崎哲子、小林千織、DUONG LAM THAO VI、鈴木一冨、佐藤惇、俣野喜代美、杉田汐里、小曾根凜、大和田花、館田汐里、三浦彩音、土岐萌々花、織戸美有

■一般寄付金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、野田ミート株式会社、内田八代、長谷和治、渡辺康博、横山守男、山本祥子、望月賢一、株式会社ダイキョープラザ、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、株式会社小松製菓、佐藤惇、山崎純雄、和田悦治、水田恵一郎、中川千恵子、濱井利一、大住敬一、福井博康、荻野益男、有限会社弘明堂、井上照悟、松岡孝柁、井川好長、木崎重安、横山明弘、澤政利、福田靖久、藤尾佑男、田中聖則、杉山雄彦、橋本光世、三浦順治、山田武司、森田政見、沖野二郎、八代京子、青木久子、増田つかさ、神永正男、鈴木強、井上景介、高野橋健吉、行本まり子、三信株式会社、山口保安工業有限会社、村田ボーリング技研株式会社、上萩洋三、野瀬昌彦、落合博志、出口孝信、木野稔、長谷愛子、株式会社三国一、加藤芳彦、神田茂、北敬子、橋高重久、合田孝一、雑賀正光、佐久間八重子、澤田修一、柴垣明昌、島崎執、関俊章、大楽吉郎、高坂賢吉、高野橋弘、茶橋和夫、寺坂富俊、内藤富博、長井孝介、西畑光廣、西村忠雄、西村秀喜、野中康弘、橋本皇子、藤本武則、前島義人、増田顕次郎、三浦洋嗣、三笠忠克、三上ハツミ、光安輝雄、御代川克之、石黒美恵子、矢沢倫子、吉山八郎、市ノ渡廣志、加藤やよい、井上貢一、笠原国次、笠原伸泰、麻野純一、鋤柄誠治、齋藤壽子、静岡県モラロジー協議会女性クラブ、四日市西部モラロジー事務所、北空知深川モラロジー事務所、小松能美モラロジー事務所、千代田モラロジー事務所、和歌山モラロジー事務所、美津島モラロジー事務所、大阪生野モラロジー事務所、東京港モラロジー事務所、浜松西モラロジー事務所、東近江モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所、近江湖西モラロジー事務所、静岡市葵モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、名古屋東モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、大阪城東モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所、西人間モラロジー事務所、米子モラロジー事務所、坂井モラロジー事務所、長岡京モラロジー事務所、京丹後モラロジー事務所、吉賀モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、須賀川モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、天草モラロジー事務所、有田モラロジー事務所、岸和田モラロジー事務所、今治モラロジー事務所、小樽モラロジー事務所、熊本モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、三戸モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、長崎モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、流山モラロジー事務所、南陽モラロジー事務所、船橋モラロジー事務所、松戸モラロジー事務所、美馬モラロジー事務所、盛岡モラロジー事務所、横浜モラロジー事務所

■竹原基金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、内田八代、長谷和治、竹原茂、横山守男、山本祥子、柏谷康博、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、神永正男、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、濱井利一、福井博康、荻野益男、桑島朋子、松岡孝柁、三木実、井川好長、森田政見、沖野二郎、八代京子、青木久子、山田莊一、長谷川卓司、山口保安工業有限会社、藤田和広、野瀬昌彦、長谷愛子、片山道則、加藤信次、桑島祥子、小林一正、島崎執、千葉静子、内藤富博、長井孝介、三浦洋嗣、山本浩、支援キルトの会ふーぶ、麗澤大学プアンサークル同窓会、大垣モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所

《会員・寄付金・竹原基金を募集しています》

麗澤海外開発協会は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。会員等での入会と寄付金・竹原基金にご支援いただきますようお願い申し上げます。

種 類	年 額
会 費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準 会 員	1口2千円(1口以上)
寄 付 金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人

麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

T E L : 04-7173-3165

F A X : 04-7173-8953

E-mail : kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP : <https://www.reitaku.or.jp/>



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。